

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月20日(月)

事務事業		指定工事店管理事務		担当課	下水道工務課	担当係	維持係	管理番号	3931
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	下水道法、深谷市下水道条例、深谷市下水道条例施行規程、深谷市下水道指定工事店規程			
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		法令・例規に基づき審査を行い深谷市下水道指定工事店の指定を行う。また、排水設備設置等に係る事務及び工事の適正化について、周知・指導を行う。							
目的 ※何のために		汚水の円滑な排除							
対象 ※誰・何を対象に		深谷市下水道指定工事店の指定を受けようとするもの及び指定を受けているもの							
手段 ※どのように		申請を受領し、審査・指定をする。また、不適正行為に対して行政指導・処分を行う。							
成果 ※何を求めるか		適正な排水設備設置等に係る事務及び工事の実施							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・指定工事店の指定				・			
		・指定工事店への指導				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.00	0.00	0.95	1.10	0.85	0.00
	人件費相当試算※	0	0	7,467,950	8,949,600	6,597,628	0
総事業費試算		0	0	7,467,950	8,949,600	6,597,628	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
	目標値	実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 1	実績値の算出式		社							
	指定工事店数	目標値								
		実績値		251	247	248	250	250	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請による指定のため目標設定できない / 指定工事店数（年度末時点）						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
		実績値								
目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式										
			目標値							
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
		実績値								
目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式										
			目標値							
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

(1) 事業達成度評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	5社から新規登録の申請を受け、全て指定工事店として指定をしたが、指定工事店の更新辞退による取消しが5社あったため、指定工事店総数は前年と変わらず250社となった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	法令・例規に基づき審査を行い深谷市下水道指定工事店の指定を行い、排水設備設置等に係る事務及び工事の適正化について、周知・指導を行った。
			評価者 維持係長 佐藤 敏幸

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	法令等に準じ、適切に指定工事店の指定や指導を行い、効率的に事務事業を執行することができた。 今後の電子申請等については、現状、申請書の誤記入や添付書類不足等により再提出となる業者が多く見受けられ、電子化による差戻手続き等を考慮すると事務の煩雑化や手続きの遅延が懸念されるため、業者への書類作成等の指導の徹底や近隣市町の動向など注視しながらICTの活用を検討する。
			評価者 維持係長 佐藤 敏幸

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指定工事店管理事務	担当課	下水道工務課	担当係	維持係	管理番号	3931
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>汚水の円滑な排除のため、法令等に準じ、適切に指定工事店の指定や指導を実施していた。 今後、電子申請などICT活用について、関係機関や近隣市町などの情報や動向等を注視しながら検討するものとし、当面は『現状のまま継続』とした。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> 下水道工務課長 武田 直樹					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

